

カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church

年間第 15 主日 15<sup>th</sup> Sunday in Ordinary Time

ほかの種は、良い土地に落ち、実を結んで…… (マタイ 13・8)

Other seeds fell on rich soil and produced their crop ……(Mt 13:8)

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15

1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo

Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449

<http://kasaicc.net/>



主日のミサ

土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)

日曜日 Sun.10:00am (日本語) & 4:00pm (English)



今日の行事予定： 洗礼志願式 50 周年会議

### 洗礼志願式

増田 智子さん (東葛西)

巽 梓織さん (相模原市)

お二人の為にお祈りください

### 福祉部給食

中断していたホーレスへの給食を 6 月 9 日金曜日午前 11 時より週一回、毎金曜日で復活しています。この活動はジェス神父さまの命名で「ステファノ会」という名で呼ぶことになりました。お手伝いいただける方執行部までお申し出下さい。

### 聖書勉強会

聖書勉強会は原則毎月第 4 日曜日のミサ後 11:30 より小聖堂で行っています。たくさんの方の参加をお待ちしています。(宣教部:シスター植木)

### 献堂 50 周年記念事業第 6 期(1 月～6 月) 献金報告

2017 年第 6 期報告 (6 月末現在)

申込者数：95 名 (目標：200 名)

献金合計：1,951,805 円(目標：3,000,000 円) 1 期からの合計は 14,894,772 円です。今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。ご質問などありましたら本橋俊和・佐藤隆一にお聞きください。

### 7 月のカフェ

7 月 30 日ミサ後にトマスホールで「夏カフェ」を開きます。スイカと麦茶でほっと一息なさいませんか。初めての方もご利用ください。(白濱)

### Kasai Church 50<sup>th</sup> Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary totals 14,642,772 yen. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

### Tagalog Na Misa

Tuwing unang Mierkules ng bawat buwan ay magkakaroon ng Tagalog na Misa (alas 10:30 sa umaga). August 2 ang Mierkules sa mga darating na buwan. May kumpisal at novena din sa mga ganoong araw.

### ウルスラ修道会でのミサ

これからの予定は、9 月 21 日(木)です。おいしいランチと祈りのひと時をご一緒に。皆様ご参加下さい。8 月はお休みです。

### 50 周年ロザリオの祈りの報告(2017 年分)

6 月は 7 名 208 環で、累計 68 名 917 環です 2017 年も 3,000 環が目標です。よろしくお願い致します。(50 周年委員会)

### 共同祈願の祈り

神よ、あなたの道を  
歩ませてください。

その他今後の予定

07月16日(日) 年間第15主日 50周年会議 **洗礼志願式**  
07月17日(月) 江戸川区原爆犠牲者追悼式 葛西区民館ホール 14:00~  
07月23日(日) 年間第16主日  
07月28日(金)~30日(日) 教会学校キャンプ 御殿場YMCA  
07月30日(日) 年間第17主日

**今週の掃除**は7月22日(土)  
浦安地区です。皆さまご参加ください。  
This Week's Church Cleaning Duty July 22<sup>nd</sup> Saturday  
**Urayasu Group**

**掃除当番の方々へ**：トマスホールの椅子は、体の不自由な方が通れるように  
聖堂との境から**タイル2枚分(約60cm)あけて**並べて下さい。

**献堂50周年記念事業準備**  
葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の  
内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心を一つにして  
準備作業を行いたいと思います。ご協力をお願い致します。

## 『年間第15主日』A年

今日の福音 マタイによる福音 (13:1-23、または13:1-9)

その日、イエスは家を出て、湖のほとりに座っておられた。すると、大勢の群衆がそばに集まって来たので、イエスは舟に乗って腰を下ろされた。群衆は皆岸边に立っていた。イエスはたとえを用いて彼らに多くのことを語られた。「種を蒔く人が種蒔きに出て行った。蒔いている間に、ある種は道端に落ち、鳥が来て食べてしまった。ほかの種は、石だらけで土の少ない所に落ち、そこは土が浅いのですぐ芽を出した。しかし、日が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。ほかの種は茨の間に落ち、茨が伸びてそれをふさいでしまった。ところが、ほかの種は、良い土地に落ち、実を結んで、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍にもなった。耳のある者は聞きなさい。」

《弟子たちはイエスに近寄って、「なぜ、あの人たちにはたとえを用いてお話しになるのですか?」と言った。イエスはお答えになった。「あなたがたには天の国の秘密を悟ることが許されているが、あの人たちには許されていないからである。持っている人は更に与えられて豊かになるが、持っていない人は持っているものまでも取り上げられる。だから、彼らにはたとえを用いて話すのだ。見ても見ず、聞いても聞かず、理解できないからである。イザヤの預言は、彼らによって実現した。

『あなたたちは聞くには聞くが、決して理解せず、見るには見るが、決して認めない。

この民の心は鈍り、耳は遠くなり、目は閉じてしまった。こうして、彼らは目で見ることなく、耳で聞くことなく、心で理解せず、悔い改めない。わたしは彼らをいやさない。』

しかし、あなたがたの目は見えているから幸いだ。あなたがたの耳は聞いているから幸いだ。はっきり言っておく。多くの預言者や正しい人たちは、あなたがたが見ているものを見たかったが、見ることができず、あなたがたが聞いているものを聞きたかったが、聞けなかったのである。」

だから、種を蒔く人のたとえを聞きなさい。だれでも御国の言葉を聞いて悟らなければ、悪い者が来て、心の中に蒔かれたものを奪い取る。道端に蒔かれたものとは、こういう人である。石だらけの所に蒔かれたものとは、御言葉を聞いて、すぐ喜んで受け入れるが、

自分には根がないので、しばらくは続いても、御言葉のために艱難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまう人である。茨の中に蒔かれたものとは、御言葉を聞くが、世の思い煩いや富の誘惑が御言葉を覆いふさいで、実らない人である。良い土地に蒔かれたものとは、御言葉を聞いて悟る人であり、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結ぶのである。」》

聖書新共同訳より引用

**A Reading from the Holy Gospel according to Matthew (13 : 1-23 or 13 : 1-9)**  
*A seed that bears fruit*

Jesus left the house and sat by the lakeside, but such crowds gathered round him that he got into a boat and sat there. The people all stood on the beach, and he told them many things in parables.

He said, "Imagine a sower going out to sow. As he sowed, some seeds fell on the edge of the path, and the birds came and ate them up. Others fell on patches of rock where they found little soil and sprang up straight away, because there was no depth of earth; but as soon as the sun came up they were scorched and, not having any roots, they withered away. Others fell among thorns, and the thorns grew up and choked them. Others fell on rich soil and produced their crop, some a hundredfold, some sixty, some thirty. Listen, anyone who has ears!"

Then the disciples went up to him and asked, "Why do you talk to them in parables?" "Because" he replied "the mysteries of the kingdom of heaven are revealed to you, but they are not revealed to them. For anyone who has will be given more, and he will have more than enough; but from anyone who has not, even what he has will be taken away. The reason I talk to them in parables is that they look without seeing and listen without hearing or understanding. So in their case this prophecy of Isaiah is being fulfilled:

You will listen and listen again, but not understand, see and see again, but not perceive. For the heart of this nation has grown coarse, their ears are dull of hearing, and they have shut their eyes, for fear they should see with their eyes, hear with their ears, understand with their heart, and be converted and be healed by me.

"But happy are your eyes because they can see, your ears because they hear! I tell you solemnly, many prophets and holy men longed to see what you see, and never saw it; to hear what you hear, and never heard it.

"You, therefore, are to hear the parable of the sower. When anyone hears the word of the kingdom without understanding, the evil one comes and carries off what was sown in his heart: this is the man who received the seeds on the edge of the path. The one who received it on patches of rock is the man who hears the word and welcomes it at once with joy. But he has no root in him, he does not last; let some trial come, or some persecution on account of the word, and he falls away at once. The one who received the seeds in thorns is the man who hears the word but the worries of this world and the lure of riches choke the word and so he produces nothing. And the one who received the seed in rich soil is the man who hears the word and understands it; he is the one who yields a harvest and produces now a hundredfold, now sixty, now thirty."

This is the Gospel of the Lord

---